

編集責任者
松本幸雄

最近、職場の庭にナスとピーマンとミニトマトの苗を植えました。みんなが一緒になって作業をし、実がなることを心待ちにして楽しんでいます。

ベトナム進出成功事例

これからの日本では、人口減少・高齢化の促進で、基本的に経済は縮小します。従って成長をしようとするれば、新エネルギーや医療・介護あるいは、航空・宇宙・環境など特定の成長分野への進出をするか、または成長する海外へ展開するかの道しか残されていません。今回はアジアで注目されているベトナムへ進出して成功している、(株)土佐電子の例を紹介します。

(1) 義理人情で高い定着率

(株)土佐電子は、ベトナムに約200人の従業員を抱える電子部品製造会社です。一般的にベトナムに進出する外資系企業は、従業員を代替可能な労働力と見なし、ドライな関係を構築する例が多く見られます。

しかし、土佐電子の場合は辻社長をはじめ、幹部従業員が従業員の冠婚葬祭には出席するようにしています。また、従業員を日本に研修させる場合は、従業員の実家がどんなに遠方であっても、辻社長が直接実家まで行って両親に挨拶を欠かしません。それが、家族を味方に引きつけ、他に給与の高い会社があっても従業員がなかなか転職しない高い定着率の原因になっています。

これは、日本国内では少しずつ希薄になってきていますが、とても大切なことではないかと思えます。仕事ができる人は、日本でもやはり冠婚葬祭への出席など義理人情をととても大切にしているのではないかと感じます。

(2) 教育を継続して高い技術力

次に、辻社長は従業員にとっても丁寧に技術を教えて家族的つきあいをしながら、辛抱強く現地スタッフを育てました。その結果、社員の技術力が同業他社に比べて格段に向上することができました。一般的に海外へ進出する企業は、従業員がすぐに辞めることを前提にしている企業が多く、教育に力を入れているところは少ないのが実情です。しかし、(株)土佐電子では家族の関係を作り、会社に長く勤める環境作りを行って

ます。それから従業員への教育を地道に継続していると、他の企業と大いに異なっているところがあります。

日本でも出光石油など大手や中小企業でも家族的経営を行っているところは、一般的に従業員の定着率が高く、それが教育効果を飛躍的に高めています。ベトナムにおいても、従業員は同じ人間であり、同じやり方が通用することを(株)土佐電子は証明しました。やはり、従業員のレベルを如何に高めるかということが、会社のレベルを上げる大切な要素だと感じます。また、教育を熱心に行っているところは、従業員の定着率も高くなり好循環の関係が認められます。

成功のポイント

義理人情を重んじる

従業員定着率を高める

未開拓に挑戦する

(3) 未開拓を狙う

更に、ベトナムでは最近物価が上昇してハノイ市のある北部やホーチミン市のある南部では、企業進出が激化して、賃金や家賃がどんどん高騰しています。そこで、狙い目はダナン市のある中部です。ここはまだ未開の地方なので、インフラなどでの苦労はありますが金や物価など安く、やり方次第で大いに成功の可能性が高い地域です。

一般的に他の企業がまだ手をつけない地域や分野は、苦労が多い代わりそれを乗り越えると事業として成功する確率が高いのはどこの国でも一緒のようです。最近の日本では新しいことにチャレンジする精神が薄れているような気がしますが、皆さんも失敗をおそれず、どんどんと新しいことに挑戦してみてくださいはいかがでしょうか。

元気な中小企業!

助成金活用でISO取得!

中小企業が一番力を発揮するとき、それは全社で何かに取り組んだ時ではないでしょうか。今回の企業はまさに【全社一丸】を絵に描いたような企業です!

株式会社ヨシダ
茨城県水戸市塩崎町2363
金属加工製造業

(1) ISO取得の背景

原子力関連の機械加工も手掛ける企業のため、早くからISOに準じた管理は行っていました。リーマンショック以降の不況時に、中小企業向けの「緊急雇用安定助成金」の活用を思いつき、ISOの取得を約10ヶ月で行いました。途中、震災の影響もありましたが、2011年4月に認証取得を行い、6月からは新たにISO14001への取り組みを開始します。

全社での協力体制が、仕事の面で効果を発揮

(担当：渡邊)

(2) 20名の推進メンバー

全従業員50名の内20名が推進メンバーとして参加しました。カタカナ言葉や聞きなれない日本語に振り回されましたが、内部監査が終わる頃には皆で乗り越え社員一人一人に自覚が芽生えていました。

(3) 業務に直結した改善活動

設備の点検や図面・記録の管理など、今まで出来ていなかった管理体制が充実しました! ISOを活用して、ルールを浸透させることに成功しました!

全員で雄叫びをあげました!



会社のメールが電話で読める!!

今話題のスマートフォン活用術

今や、電子メールで注文を受け付けたり、取引先と連絡を取り合ったりすることは当たり前前になっています。

出張先や自宅などで、会社のメールを送受信できれば、とても便利だと思いませんか?



スマートフォンでは、携帯のメールだけでなく、パソコンのメールを送受信する機能がありますので、いつでもどこでも会社のメールを確認することができます。

電子メールの送受信

さらに、ワードやエクセル、PDFなどの添付ファイルも大きな画面で表示されますので、**図面や書類の内容を確認**することもできます。

また、**複数のメールアドレスを登録**することができますので、携帯メール、個人と会社などのメールを1台のスマートフォンで受け取ることも可能です。

お客様から受け取ったメールに即座に応答することは、お客様の信頼にもつながります。**クイックレスポンス**を心がけましょう。

(担当：米原)



業務内容

ISO・Pマーク

ISO 9001
ISO 14001
ISO 22000
ISO 27001
Pマーク(JISQ15001)

経営戦略・事業計画

経営戦略・事業計画
営業計画・売上利益計画
介護事業経営支援
マーケティング戦略

社員教育・業務改善

業務改善・問題解決力
目標管理・リーダシップ
営業のポイント
コミュニケーション
介護職員研修

介護事業所運営

「デイサービス野ばら」
◎ デイサービス
◎ 宿泊&土日OK!
◎ 癒し整体(無料)
Tel.029-306-7742

配布がご不要の方は、失礼いたしました。下記にご一報頂ければ配布の停止をさせていただきます。

TEL : 029-246-4671 FAX : 029-246-4672 E-mail : info@isommc.com